

お元気ですか



新屋敷事務所: JR円行寺口駅前 823-5878
あぞの事務所: 846-2046 県議会 823-9524
北本町事務所: 北本町1丁目13-1上雅ビル1F

どうすれば若者は政治に関心をもてる？

県主催 若者と議員の座談会



若者「政治や議員に距離感じる」

県の選挙管理委員会が主催する、若者と議員の座談会へ参加しました。

県内の高校3年生を対象にアンケート調査が行われ、44校、3,556人から回答が寄せられています。「政治に関心ある」と答えた生徒は45%です。

一方、「政治に関心がない又はわからない」生徒は54.7%と、関心がない生徒が多い状況です。

そして、なぜ関心をもてないのか理由について、最も多かった回答は「政治を自分事として感じられない」。「一番目は「勉強・部活、プライベートが忙しく政治に関わる機会がない」でした。

関心がない原因、その解決策は何か

議員も入り、自由な討論が行われました。関心を持ち、考え、行動する選挙を若者自身も求めています。高校生が共通して発言したのは「政治や議員側からの情報発信が若者に届かない」との訴えです。若者はテレビを見ない、情報源はYouTube、身近な家族や友達からと話します。今の選挙公報や議会報告のスタイルや内容を改革していく必要が行政や議員側にもあると反省しました。

若者から少子化対策に意見

県の取り組んでいる、結婚の出会いサポート事業について聞くと「信じられない、出合いの場が無いわけではない、お金の問題が大きい、子育てもお金が大変」との意見出され、さらに、「奨学金の返済の為に給与が高い県外へ行く実態」だと訴えがありました。県の政策や予算の優先順位が当事者の若者とズレている所があると実感、見直しが急務と思います。女子生徒の参加の多さは大事な特徴でした。

おたまじゃくし

県議会で人口減少対策特別委員会の委員になる。

県は若い女性に焦点をあてた調査や対策を考えている、中でも「婚姻数」を増やすことがポイントになっている。しかし、若者と話し見えてきたのは多様な家族の形や自分の生き方など個人の尊重より、結婚して子どもを産むことが大事だと政治がルールを引くことに異論を述べた若者が1人ではなかった事だ。この声は、知事には届いているのだろうか。

声を届けたい事はまだある、高知市の北山で操業していた廃プラスチック類を焼く焼却施設が火事になって何日も経つ、まだくすぶり鎮火していない。

地域からは、廃プラが燃える過程で発生するダイオキシンについて大気検査を求める声が上がっているが、市の担当課は「火事の場合に大気汚染を調べる仕組みがない」とした。しかし、法律や条例に調査がダメとは書かれてはいない。汚染検査をする事は行政の判断で可能なこと。

市の姿勢が問われる、重大な問題である。



マイナンバー無くても受診OK

新規保険証の発行停止について

国は今年の12月2日以降、新規の医療保険証の発行をしないと、マイナンバーカードの提示を求めています。

では、マイナンバーカードを持っていない方はどうなるのか。心配の声が寄せられています。資格確認書が発行されますので、これまでと変わらず保険診療を受けることができます。

すでに、発行されている保険証は期限まで使えます。また、会社員等の社会保険の場合は、退職するまで現在の保険証が使えます。マイナンバーカードが強制されることはありません。

無料 生活・法律相談会

☆8月18日 午前10時～12時

新屋敷事務所 皿田幸憲・弁護士

☆8月21日 午後18時～20時

あぞの事務所 南拓人・弁護士

*あぞの予約先: 090-1171-4156